



平成29年度 北区きらりと光るものづくり顕彰 きらめき企業部門 受賞企業一覧

企 業 名 株式会社オージ



所 在 地 東京都北区神谷 1-1-1

電 話 03-3912-3111

U R L <http://www.kk-oji.co.jp/>

企業概要 バスに関する表示・チャイム・照明などの設計・製造・販売をするメーカー。東日本を中心に、業界トップクラスの販売実績を誇る。

企 業 名 株式会社コアテック



所 在 地 東京都北区滝野川 3-50-1

電 話 03-3910-7361

U R L <http://coretec2929.sakura.ne.jp/>

企業概要 モーターの中心部であるモーターコアの製造メーカーであり、型内接着積層という省電力化、高効率化が可能なコア技術を有する。

企 業 名 ジャパン・プラス株式会社



所 在 地 東京都北区東十条 1-18-1

電 話 03-3912-5131

U R L <http://www.j-p.co.jp/>

企業概要 主に包装資材、プラスチック製品の製造メーカー。産学連携にも積極的に取り組み地域社会との繋がりを考慮した企業活動を行っている。

企 業 名 東京フェライト製造株式会社



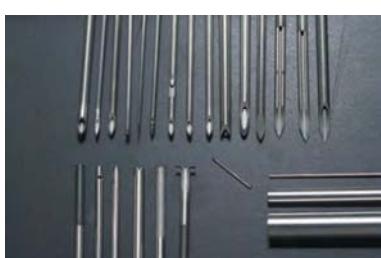
所 在 地 東京都北区田端新町 1-1-14

電 話 03-3893-9505

U R L <http://www.tokyoferrite-ho.co.jp/>

企業概要 フェライト磁石の製造・販売を行っている。100%受注生産で、原料、金型から製品まで国内で一貫生産している。

企 業 名 日本注射針工業株式会社



所 在 地 東京都北区王子本町 1-28-9

電 話 03-3900-4524

U R L <http://www.ncc-tyo.co.jp/jp/>

企業概要 注射針（カヌラ）の製造・販売メーカーで、世界各地から様々な仕様に対応している。王子神社例大祭に奉納・参加等、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる。



City of Kita

平成29年度

北区きらりと光るものづくり顕彰



フルカラーデジタル行先表示器

きらめき企業部門

株式会社オージ

所在地 東京都北区神谷1-1-1

電話 03-3912-3111

ホームページ <http://www.kk-oji.co.jp/>

受賞の概要

オージは、バスの行先表示器、メモリーチャイム、乗降中表示灯などを設計・製造・販売しています。バスとの関わりは、運転手が手巻き式行先表示機をターミナルで発車前に回している姿を見て、大変だと思った創業者が、電動式行先表示機を開発したことに始まります。バスのワンマン化に呼応して「降りますボタン」で知られているメモリーチャイムも考案し、バスに乗れば必ず目にするものになっています。

LEDの行先表示器がバスについているのは今では見慣れた光景になっています。その先駆けとなったのが同社です。LEDは、表示器の視認性に優れ表示が自由に変えられる利点もありますが、光の直進性はバス用表示器には難点がありました。この点をレンズの形状やLEDの実装板の形状などを工夫して実用化に成功しました。近年は、三色LEDの制御に成功してフルカラーLED行先表示器を実用化しました。またフルカラー表示や降車ボタンなどのカラーユニバーサルデザイン化などにも取り組んでいます。



榎本社長



つくば工場外観



平成29年度

北区きらりと光るものづくり顕彰



モーターコア製品各種

きらめき企業部門

株式会社コアテック

所在地 東京都北区滝野川3-50-1

電話 03-3910-7361

ホームページ <http://coretec2929.sakura.ne.jp/>

受賞の概要

コアテックは、1948年に創業しクランクプレス機を製造していました。1955年にプレス加工に進出し、プレス加工を専業にするようになりました。プレス加工を始めた当時は、龍角散の缶などを製造していました。

現在の同社は、専らモーターの中心部であるモーターコアを製造しています。モーターは様々な種類のものがありますが、同社は省電力性や効率性に優れた高性能モーターに対応したモーターコアの製造で独自のポジションを築いています。

同社は高性能モーターに対応するための技術開発に取り組みました。モーターを省電力化、高効率化するにはコアの端面から発生する渦電流を抑制する必要があります。渦電流を小さくするには、従来のものよりも薄い板でコアを積層することが一つの方法ですが、薄い板を使うとカシメによる積層は使えなくなります。そこで同社は、接着による積層技術を考案し、「型内接着積層」として特許を取得しています。



坂田社長(後列中央)と社員の皆様



工場外観



平成29年度

北区きらりと光るものづくり顕彰



(左から) シェルパック・部品トレー・J1-BOX

きらめき企業部門

ジャパン・プラス株式会社

所在地 東京都北区東十条 1-18-1

電話 03-3912-5131

ホームページ <http://www.j-p.co.jp/>

受賞の概要

ジャパン・プラスは部品トレイやブリスター・パックなどの包装資材のほか、ノベルティや雑貨などを製造し、運送会社や電機メーカー、化粧品会社、理化学商社など幅広い販売先を持っています。

同社は創業以来、真空成形技術を基本に独自商品の開発を模索し、様々な商品を考案してきました。そのなかでペン先でも破れない強靭な伸縮性があるポリウレタンフィルムを使った梱包材「J1-BOX」は、同社を代表する商品です。「J1-BOX」は、ポリウレタンフィルムで搬送物を挟んで箱の中で浮いた状態にする梱包材で、輸送時の振動や衝撃から商品を保護します。透明フィルムなので商品の確認がしやすい点もセールスポイントです。軽くてハンドリングが楽ということでパソコンをはじめ精密機器などの運送に多用されています。また、J1-BOXを基に通販向けの「オルピタ」や精密部品用の「P-BOXピーボックス」なども商品展開しています。



笠倉会長



工場内観



City of Kita

北区きらりと光るものづくり顕彰



プラスチックマグネット

きらめき企業部門

東京フェライト製造株式会社

所在地 東京都北区田端新町 1-1-14

電話 03-3893-9505

ホームページ <http://www.tokyoferrite-ho.co.jp/>

受賞の概要

東京フェライト製造は 1959 年に創業した磁石メーカーです。同社では各種の焼結マグネット、ラバーマグネット、プラスチックマグネットを製造しており、自動車用や家電用のモーターやセンサー、メーターなどに多用されています。

同社は 1000 種ほどの磁石を製造していますが、このなかで得意としている磁石は、多極磁石です。この多極磁石の品質は、形状の寸法精度に加え極の位置とピッチの正確さが決め手になります。通常、磁石は材料の成形後に着磁するため着磁性の良さも求められます。同社は独自の多極磁石成形技術を持ち、大手企業を含めた磁石メーカーのなかでも高い評価を得ています。

磁石に関する理論は充分に研究され、材料そのものの改良には次の画期的な発明を待たねばなりません。しかし一方、理論値に近い性能の磁石を安定して量産する技術、あるいは複雑な形状の磁石の製造については常に開発余地が残されており、中小企業ならではの対応力を磨いて顧客満足を実現し続けたいと語っています。



増井社長



社屋外観

平成29年度

北区きらりと光るものづくり顕彰



注射針製品各種

きらめき企業部門

日本注射針工業株式会社

所在地 東京都北区王子本町 1-28-9

電話 03-3900-4524

ホームページ <http://www.ncc-tyo.co.jp/jp/>

受賞の概要

日本注射針工業は1947年の創業で、汎用的な注射針の製作でスタートしました。現在は、透析や細胞の切除などに使われる様々な形状の特殊針の製作が主力になっています。同社の特殊針は、主に海外の医療機器メーカーに納入され高い評価を得るなど、注射針専業メーカーとして独自の地位を築いています。

同社は、「品質」を経営上のキーワードにしており、ISO13485(医療機器品質マネジメントシステム)を取得しています。注射針の製造工程は、概ね[パイプ切断ー研磨ー刃面仕上げ(ブラスト処理)ー洗浄ー品質検査]という流れであり、自社設計の専用設備を導入し、多品種少量生産に対応しています。専用設備は、これまで培った熟練技能を機械化させたものであり、例えば1mm以下の長さに線材を切断することも可能です。同社は積極的にこのような設備投資をしています。

同社はこれからの発展を視野に入れ、ISO22301(事業継続マネジメントシステム)を取得しているほか、品質の要になる熟練技能の継承にも注力しています。



平野社長



工場での検査風景



平成29年度 北区きらりと光るものづくり顕彰 きらめきの技人部門 受賞者一覧



氏名(就業先) 酒井 智子 (サカイ工房)
所 在 地 東京都北区西ヶ原 2-40-12 サンライズビル 1F
電 話 03-5974-3868
U R L <http://www.sakaikobo.net/>
技 能 概 要 日常の生活に密着した器類を製作する都市型の陶芸作家。
北区伝統工芸保存会会員。



氏名(就業先) 橋本 幸次 (株式会社甲味食品興業所)
所 在 地 東京都北区中十条 4-1-2
電 話 03-3900-4763
技 能 概 要 カレーパウダーの製造に従事。都内唯一のカレーパウダー製造会社として、取引先の要望に的確に応える配合技術を有し高い評価を得ている。



氏名(就業先) 南 佳男 (大栄工業株式会社)
所 在 地 東京都北区昭和町 3-4-8
電 話 03-3800-8061
U R L <http://www.daiei-industry.co.jp/>
技 能 概 要 樹脂加工に従事。精密機械部品や理化学研究機器、特殊ディスプレイなどに用いる樹脂の切削・研磨・接着・溶接技術に関し高度な技術を有する。



氏名(就業先) 寺田 卓 (有限会社寺田製作所) **若手枠**
所 在 地 東京都北区田端新町 3-21-3
電 話 03-6807-6031
技 能 概 要 主に大学や国の研究機関で使用する理化学ガラスの製造に従事。細かい手加工、接合技能に優れている。



City of Kita

平成29年度

北区きらりと光るものづくり顕彰



きらめきの技人部門

酒井 智子 サカイ工房

所在地 東京都北区西ヶ原2-40-12
サンライズビル1F

電話 03-5974-3868

ホームページ <http://www.sakaikobo.net/>

受賞の概要

酒井智子さんは、輜轆を挽く姿を見て陶芸に惹かれ、陶芸の道に進みました。酒井さんは、陶芸教室の講師を長年務め、陶芸作家としても活動しています。酒井さんは、量産品よりも個性があり、日常の道具として使われる陶器をつくるクラフト作家を目指しています。酒井さんの作品は、道具としての陶器を評価する日本クラフト展に4回入選を果たしています。最近の酒井さんは、自分が表現したいものをイメージするのではなく、使う人が何を感じるかをイメージすることを基本姿勢にしています。

焼き方、土、染付けなど作家によってこだわるところがあり、それぞれの作風が表れます。酒井さんは、釉薬にこだわっており、異なる種類の釉薬が触れ合って起こる化学反応で光沢や模様を表現しています。そして、シンプルで使う人が使い方をイメージしやすい作品を作っています。



陶芸作品各種



平成29年度

北区きらりと光るものづくり顕彰



きらめきの技人部門

橋本 幸次 株式会社甲味食品興業所

所在地 東京都北区中十条 4-1-2

電話 03-3900-4763

受賞の概要

橋本幸次さんが代表を務める甲味食品興業所は、カレー粉づくり一筋の会社です。橋本さんはその3代目で、これまで31年にわたってカレー粉づくりを続けています。

カレー粉づくりの工程は[製粉—配合—搅拌—焙煎—篩い]であり、原料になるスパイスは20種ほどあります。カレー粉づくりの要は主に二つあり、一つ目は焙煎であると橋本さんは言います。原体の煎り具合によって風味が変わり、湿度や温度、原体の油の含有量などによって煎り具合の調整が必要になります。二つの要は、製粉での挽き具合であり、これによってカレーの味が変わるとと言います。コクを引出すには、できる限り細かい粉に挽かなくてはなりません。煎りと同じように湿度や温度、原体の油分の含有などを見極めながら挽きの回数や時間などを調整します。

橋本さんは、このようなノウハウを先代の父親から受け継ぎ、カレー粉づくりに励み、様々な風味のカレーを提供しています。



コリアンダー（左）とターメリック（右）



搅拌機で焙煎する様子



平成29年度

北区きらりと光るものづくり顕彰



きらめきの技人部門

南 佳男 大栄工業株式会社

所在地 東京都北区昭和町 3-4-8

電話 03-3800-8061

ホームページ <http://www.daiei-industry.co.jp/>

受賞の概要

南 佳男さんは、21歳のときからプラスチック成形金型の製作に携わり、その後、樹脂加工に従事するようになりました。1980年代前半はNC工作機械が普及し汎用機にとって代わる時期であり、その頃に金型工になった南さんは、汎用旋盤やフライス盤の操作を仕込まれる一方で、NC機の操作も習得し汎用機、NC機のどちらも自在に操る技能を身に付けました。

南さんが現在勤務する大栄工業は、理化学機器用部品やディスプレイなどを製作しています。南さんは同社で主力設備のNC工作機械のほか、汎用機も駆使して効率的に注文に応えています。南さんの技能の特徴を示す作業風景を紹介します。汎用機が主力であった頃、熟練した旋盤工は作業に応じてバイトを自作していました。円形のリールは正方形のアクリル板を段取替えし、切削して円形にしていきますが、南さんは段取替えなしで円形に切削するバイトを作り、作業時間を大幅に短縮しています。



製品各種

平成29年度

北区きらりと光るものづくり顕彰



きらめきの技人部門 若手枠

寺田 卓 有限会社寺田製作所

所在地 北区田端新町3-21-3

電話 03-6807-6031

受賞の概要

寺田 卓さんは、寺田製作所の3代目としてガラス製理化学器械の製作に従事しています。寺田製作所は全国の大学や試験研究機関に理化学器械を納めています。寺田さんの曾祖父はオリンパスの創業者の一人で顕微鏡の工業生産に成功した寺田新太郎さんです。寺田製作所は、曾祖父の影響を受けた祖父が創業しました。

寺田さんは、高校を卒業した1997年に家業に就きました。古参の職人さんのもとでガラス加工の基本となる作業用の持手を作ることから仕込まれました。それから曲げと継ぎを仕込まれ、フラスコなどを成形する吹き、メスジョイントの絞りへと技能を高めていきました。師匠の職人さんのほかにも、業界団体を通じて親しかった職人さんを頼って技能の習得に努めました。このようにして修業を重ねた寺田さんは、肉薄ガラス管を内径0.4mm以下に伸ばし、繰り返して製作するネプライザーのような難しい注文にも応えられる技量を身に付け、家業の屋台骨を支えています。



作業風景



理化学ガラス製品各種

